



PLANTATION
WATCH

プランテーション・ウォッチとは、以下の6団体が協働して、熱帯地域での単一作物の大規模栽培が抱える問題について情報提供し、責任ある原料調達を目指す取組を支援するNGOネットワークです。

- 熱帯林行動ネットワーク (JATAN)
- レインフォレスト・アクション・ネットワーク (RAN) 日本代表部
- 一般財団法人地球・人間環境フォーラム (GEF)
- 特定非営利活動法人 国際環境 NGO FoE Japan (FoEJ)
- 特定非営利活動法人 メコン・ウォッチ
- サラワク・キャンペーン委員会 (SCC)

<http://plantation-watch.org>

連絡先: プランテーション・ウォッチ c/o 熱帯林行動ネットワーク事務所
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-23-16 第二得丸ビル3F / TEL 03-5269-5097



FoE Japan



本リーフレットは 独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しました

危ない油

パーム油のリスク、知っていますか？



パーム油を生産するための
アブラヤシ農園の開発によって、
熱帯林が失われ、
野生動物たちが生息地を失っている
ことはご存じかもしれません。



しかし、問題はそれだけではありません。
パーム油を利用することで、
様々な重大な問題に関与してしまうリスクがあるのです。
「危ない油」への対処には、責任ある調達を目指した取組が必要です。

プランテーション・ウォッチ

表紙写真：アブラヤシ農園に転換された森林跡地に立ち、そこに残された
毒性の強い除草剤パラコートの空容器を手にして嘆く地域住民。

RSPO と POIG とは？

RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil / 持続可能なパーム油円卓会議)

「持続可能なパーム油」を求める声の世界的な高まりに応じて 2004 年に設立されました。国際的な認証制度ですが、管理方式によっては、非認証農園のパーム油も認証油として利用されています。基準や体制は徐々に改善されていますが、対処すべき課題も指摘されており、現状では「危ない油」を回避することは困難です。

<http://rspo.org>

POIG (Palm Oil Innovation Group / パーム油改革グループ)

POIG は、RSPO を支援し革新をもたらすために 2013 年に発足し、POIG 憲章を策定しました。RSPO 認証基準に加え、**森林減少を食い止め、気候変動を抑制する泥炭地保全を行い、土地権、労働権、児童労働を含む人権侵害等に対処する POIG 要求事項**を定めています。NGO や RSPO 会員のパーム油企業が責任あるパーム油の実現にメンバーとして取り組んでおり、サポート企業が支援しています。

<http://poig.org>

企業の皆様へ
「危ない油」への対処方法があります。

- サプライチェーンを確認し、できるだけ供給元農園を特定する。
- 供給元や投融資先のパーム油関連企業に、**POIG 要求事項を満たす**よう求めていく。
- 以下のような**責任あるパーム油調達方針**を採用し、期限付きの実施計画を立て、実施していく。
 - ・供給元が不明なパーム油は使わない。
 - ・POIG 要求事項を満たす企業から、供給元の確認されたパーム油を利用する。
 - ・POIG 要求事項を満たすことを条件に、暫定的にリスクの低いRSPO 認証農園のパーム油を利用する。
- POIG 要求事項を満たす企業に投融資を限定する**投融資方針**を採択し、実施していく。
- 供給元や投融資先で何らかの悪影響を与えている場合には、**問題解決への対処**を行っていく。

パーム油の
調達リスク：
環境的悪影響



Photo: Centre for Orangutan Protection

森林減少 インドネシアとマレーシア

ではアブラヤシ農園が急速に拡大し、過去 20 年間に約 360 万ヘクタール（九州程の面積）の森林が、アブラヤシ農園に変わりました。これまでも木材生産のために熱帯林は伐採されてきましたが、天然林として残り、回復する部分もありました。しかしアブラヤシ農園に変えられると森林には戻りません。

生物多様性の喪失 森林減少は、絶滅危惧種

を含む生物たちの生息地を奪っています。ボルネオ島のゾウの生息数は 1500 頭以下で、オランウータンは生息地の 80% がすでに失われました。スマトラ島でも、ゾウは数千頭以下、オランウータンは 6600 頭以下、トラは 500 頭程度にまで減少しています。陸上の生物種の半数を有する最も豊かな熱帯林の生物多様性は、アブラヤシ農園により失われようとしています。

気候変動への脅威 パーム油 (CPO) 生産

(1 トンあたり)の温室効果ガス排出量は、石炭の 2.4 トンより多く、約 3.9 ~ 30 トン (CO2 換算)と推計されています。熱帯林の下に眠る泥炭層には、世界の化石燃料の消費量 100 年分の炭素が蓄積され、熱帯泥炭地は「地球の火薬庫」と呼ばれています。泥炭地におけるアブラヤシ農園開発は、気候変動を急速に進める重大な脅威と考えられています。



パーム油の調達リスク：社会的悪影響



労働者や子どもの権利侵害

大規模なアブラヤシ農園は、移住労働者や日雇い労働者といった安価な労働力に支えられています。最低賃金を無視した歩合制賃金、厳しい達成ノルマの設定、農薬散布による健康被害を含め労働者の権利が侵害されており、そうした状況が児童労働、債務労働を引き起こす背景にあります。パーム油は、米国政府労働省により、強制労働や児童労働への関与が認められる製品に指定されています。



地域住民との土地紛争

昔から地域住民が利用してきた土地への権利を無視して、企業にアブラヤシ農園開発の許可が与えられ、土地を奪われた人々との土地紛争が頻発しています。インドネシアでは4000件以上の地域住民との紛争があり、マレーシア・サラワク州では100件以上のアブラヤシ農園関連の裁判が起きています。

汚職や違法な操業

大規模な開発の背景には、地域住民の土地権を軽視し、企業に土地分配を行うことで、政府高官や政治家が私財を蓄えている構造があります。土地開発権の認可が汚職の温床となり、違法な操業も起きています。



zunar/Malaysiakini

タイプ・マハムド元サラワク州首席大臣が何十億ドルもの金を32年間にわたり、個人的に貯め込んでいたという図。その間にサラワクの原生林はわずか5%にまで減少し、この男とその取り巻きの私腹を肥やした。